

## 第13回秋田市地域公共交通協議会 議事要旨

開催の日時 平成25年7月31日(水) 午前10時30分から12時

開催の場所 ふきみ会館3階 大会議室

委員の定数 23名

出席委員 21名(うち代理出席10名)

議 事 (1) 平成24年度秋田市地域公共交通協議会決算について  
(2) 平成25年度秋田市地域公共交通協議会予算(案)について  
(3) マイタウン・バス北部線のアンケート調査の実施について  
(4) バス路線再生分科会委員の指名について

1 開会

2 あいさつ

3 委員の紹介

4 会長の選任について

事務局 協議会設置要綱第4条第1項の規定により、会長は委員の互選により定めることとなっている。  
どなたか推薦する方はいないか。

委員 日野准教授を推薦する。

事務局 ほかに推薦がなければ、日野委員にお願いしたいがどうか。

委員一同 異議なし

5 会長職務代理者の指定および監査員の任命について

事務局 協議会設置要綱第4条第3項および第4項の規定により、会長から会長職務代理者の指定と監査員の任命することとなっている。

会 長 会長職務代理者を鎌田潔委員に、監査員は、本日欠席しているが、高橋敦子委員にお願いする。

## 6 議事

－議事開始－

会 長 議事(1)について事務局から説明願う。

事 務 局 (資料に沿って説明)

委 員 平成24年度歳出の予算の調査研究費が50万円に対し、決算が0円となっているが、当初の予算で何を調査研究しようとしていたのか。

事 務 局 当初予算では、タクシー活用実証実験事業、地域住民運行事業、ICカード導入可能性調査事業について調査研究を実施する予定だった。しかしながら、タクシー活用実証実験事業においては、マイタウン・バスの東部線で実施する予定だったが、高齢者コインバスの導入により利用率が上がったため、実施する必要がなくなった。

地域住民運行事業においては、函館市への視察を予定していたが、視察する事業の結果が出ていなかったため、見送った。

また、ICカード導入可能性調査事業においては、伊丹市の視察を予定していたが、秋田市の予算で視察に行ったため、計上しなかった。

会 長 ほかに質問等はないか。

委 員 一 同 なし。

会 長 では、議事(1)について承認してよいか。

委 員 一 同 よし。

会 長 次に議事(2)、(3)について事務局から説明願う。

事 務 局 (資料に沿って説明)

委 員 マイタウン・バスの運行形態について、教えてほしい。

事 務 局 市内の廃止された路線や採算のとれない路線において、市が事業者  
に委託運行しているものである。

東部、西部、南部、北部線のマイタウン・バス運行事業者のかかる費用から収入を差し引いた分を負担金として支払って運行している。

委 員	時	時刻表、ルートについて、教えてほしい。
事 務 局	秋	秋田市のウェブサイトで公開しているが、委員の皆様には後日配布する。
委 員	マ	マイタウン・バスの予約式とは、何か。
事 務 局	バ	バスが出発する1時間前までに電話で予約すれば、バスを運行する方式である。
委 員	マ	マイタウン・バスのアンケートの質問で「マイタウン・バスを知っていますか」が必要ではないか。
事 務 局	ア	アンケート調査票と一緒にマイタウン・バスをPRしたチラシを同封したいと考えている。
委 員	質	質問とPRは違うため、質問は入れた方が良くと思う。
事 務 局	了	了解した。
委 員	こ	この秋田市地域公共交通の事業概要がわかるものを委員に配布してほしい。
事 務 局	了	了解した。
委 員	マ	マイタウン・バス事業により、路線バスの費用に対する収入の割合は改善されたが、補助金が減った。過去数年の中央交通でもらっている路線バスの補助金とマイタウン・バスの補助金の比較したものを出してほしい。
事 務 局	後	後日配布する。
委 員	マ	マイタウン・バスの利用状況等の当該事業の実態についての資料を委員に配布してほしい。
事 務 局	了	了解した。
委 員	ア	アンケートの質問において、目的を把握するのに問6の質問は適切なかどうか。 目的を達成するためにバスに乗るのだから、いつ、どこ、いくらを

聞かなければならないが、その間である問9において、時間は、予約式であるため問題はないが、ルートの設定は適切なのかどうかの設問が必要なのではないか。

また、金額については質問に入っているので、問題ないが、目的があって、利用してもらえない要因について、アンケートに盛り込まれているのかどうかなど、プランがしっかりしていないと、次のDOとCHECKの部分で我々の意図した部分が十分に出てこないことから、どういう思想で問を作ったかご教授願いたい。

事務局	ルートについては、路線の運行協議会にはかり、決定している。 制度を利用しているかどうかについては、問3で確認し、利用目的等については、利用している方に、問6から9まで利用していない方には、問4から交通手段や意向を質問している。
委員	事務局で良ければ良いが、利用しない理由を推測できるようにアンケートに盛り込めば、問題ないと思う。
事務局	意見を参考とし、検討する。
委員	同居している方の家族構成、車の使用状況、同居の方の交通手段は何かを聞くなどにより、マイタウン・バスの新たな需要があるかが把握できるような質問をしてほしい。
事務局	検討する。
委員	(マイタウン・バスを利用していない方が) どこへ行くのに車を使用しているのか、使用時間帯など普段の交通を聞くことによって、マイタウン・バスでまかなえるのか確認できる質問をしてほしい。
事務局	検討する。
委員	マイタウン・バスは誰が利用するのか、どのような世帯でどのような方が利用するのかなど家族構成がわかるような基礎項目の調査を増やした方が良いと思う。
事務局	家族構成の質問については、取り入れたいと思う。
会長	ほかに質問等はないか。
委員一同	なし

会 長	では、議事(2)、(3)について承認してよいか。
委 員 一 同	よし。
会 長	次に議事(4)について事務局から説明願う。
事 務 局	(資料に沿って説明)
会 長	質問等はないか。
委 員 一 同	なし
会 長	では、議事(4)について承認してよいか。
委 員 一 同	よし。
	—議事終了—
	7 その他
事 務 局	(中心市街地循環バスについて報告)
委 員	循環バスの1人あたりどのくらいの距離を乗っているか。
事 務 局	データとして把握はしていないが、実際の状況をみたところ、観光客においては、1日券を用いて3回乗車している方がいたり、市民においては、駅に集中した乗降ではなく、全体的に乗降している状況を確認している。
委 員	循環バスの目的やその成果・効果はどうか。
事 務 局	循環バスの目的は、なかいちのにぎわい創出を考えた際、点から線へ、線から面へと言うことで、そのにぎわいを通町、中通および大通等を一帯的につなげようとするものである。 循環バスの必要性についてアンケート調査したところ、必要との結果から、本格的に運行している。
委 員	目的を踏まえ、利用実績を分析しながら、運行してほしい。
事 務 局	意見を参考とし、運行する。

委員	昨年度、乗降について、どこからどこまで乗ったか調査させているのか。
事務局	アンケート調査と一緒にやっている。 手元に資料はないが、内容としては、回答したとおりである。
事務局	ほかに質問等はないか。
委員一同	なし
事務局	以上で本日の協議会を終了する。
	—協議会終了—